

二階俊博自民党津波対策議連会長の話

「阪神淡路地震の際、私は予算委員会で『何を犠牲にしても何を後回しにしても私達は日本人の力で神戸は立ち直りました。』と世界に向けて宣言できるようにしようと提言したことを今も覚えています。しかし、今回の現地調査を終えて、やはり、同じ言葉が浮かんで参ります。国家の総力を尽くして災害復旧と現地の人々が希望を持って立ち上がれるよう、努力を傾けたい。」